

宇都宮市 学校 情報教育 だより

～学校で情報機器を活用するためのヒントや授業実践例などを紹介していきます。～

＝ 平成 21 年度 情報教育実践研修 ＝

教育センターでは、情報活用能力の育成にかかわる講話、実践事例の紹介、ソフトの操作実習、授業研究などを通して、パソコンやインターネット等を活用した授業を展開するための技術、及び指導力の向上を図ることを目的とした「情報教育実践研修」を実施しております。

今年度の情報教育実践研修では、中学校-英語 第2日目にデジタル教科書を用いた模擬授業を行い、小学校-上学年 第3日目には篠井小学校、昭和小学校、瑞穂野北小学校を会場として公開授業を実施しました。

昨年末には50インチデジタルテレビの教室への整備が完了して、「分かる授業」「楽しい授業」の実現に向けて、情報機器の効果的な活用がますます期待されるところです。

□ 冬の夜空

〈理科〉 篠井小学校 4年



冬の星や星座の名前や動き、ならび方、明るさや色について知ることをねらいとした授業でした。

天体シミュレーターソフトを使って星や

星座の動きを夏の星や星座と比べながら確認したり、教科書と同じ画像を大きく映して星や星座の名前や色を確認したりしました。オープンスペースを有効に活用して映像や画像を大きく映すことによって、意識が集中し学びの場が生まれました。授業中に観察することが難しい「星」の学習において、デジタル教材の活用は大変効果的でした。

□ 電磁石のはたらき

〈理科〉 瑞穂野北小学校 6年



「モーターの軸を回すと、豆電球に明かりがつく理由」について、児童一人一人が自分の考えを絵や言葉でノートにまとめ、実物投影機で映

しながら発表しました。また、授業の最後には、火力発電や水力発電の仕組みについて動画で確認して知識の定着を図りました。

モーターの軸を回して豆電球に明かりをつけたり検流計を使って電流が流れていることを確認したりする児童の活動を大切にしながら、要所で情報機器を活用していました。

□ 感動をリズムにのせて

〈国語〉 昭和小学校 6年



CDの効果音を聴いて俳句を作ったり、完成した俳句に合う効果音を選び音楽を添えて表現したりする活動を行いました。

パソコン等の情報機器を用いて視覚的な情報を与えることにより児童の想像力が制限されてしまうことがないように、意図的にCDプレーヤーのみを用いた活動としました。

俳句作りに「音」を取り入れることで、今までとは違った視点で想像力をふくらませたり俳句に対する興味関心を高めたりすることができました。

□ デジタル教科書を用いた模擬授業

〈英語〉 情報教育実践研修(中学校-英語)



千代田区立九段中等教育学校から明石達彦先生をお招きして、全中学校に導入されている「東京書籍 NEW HORIZON デジ

タル教科書」を用いた模擬授業を行いました。

模擬授業を通して、このソフトに収録されている「音声再生」「フラッシュカード」「ピクチャーカード」「動画」等の機能を用いることにより、生徒が英語を発話し発音に慣れ意味理解を深めることができることを確認するとともに、授業における効果的な活用の方法を知ることができました。